

産学連携の取組状況

産学連携・研究支援室

長崎国際大学は、地域の観光・福祉・医療の水準の向上を大学の使命の一つとして位置づけ、観光・福祉・医療分野の教育研究の成果を広く社会に還元するため、産学官連携による社会貢献に積極的にかかわっていきます。この目的を実現するために次の方策を掲げ、実践します。

1 地域社会への貢献

地域社会における地(知)の拠点として、地域産業界、地方自治体等との連携を強化し、地域の活性化に貢献する。

2 共同研究・受託研究等の推進

企業や自治体等のニーズに基づいた共同研究・受託研究等に積極的に取り組み、産学官の連携による研究活動を活性化する。

3 知的財産の創出

長崎国際大学知的財産ポリシーに基づき、本学または企業や自治体等との共同研究・受託研究等により創出した知的財産を社会に還元する。知的財産の取り扱いについては、その権利化を図るとともに産業界への技術移転・事業化を進める。

4 人材の育成

産学官連携に関わる授業及び研修会の実施、企業等とのインターンシップの実施など、教育面での連携にも積極的に取り組み、社会の発展に貢献できる人材の育成に努める。

5 産学官連携の管理運営体制の構築

地域社会の地(知)の拠点としての活動を図るため、産学官連携に対する管理体制の構築とその運営を行う。

6 リスクマネジメント

産学官連携に係る利益相反等を未然に防止し、かつ発生した相反行為等を解決するため、長崎国際大学利益相反に関する規程等により円滑な調整を行う。

—令和5年度に新規契約した共同研究、委託研究—

・共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・准教授・藤本 京子

相手先機関名・研究者名：(株) バイオジェノミクス・淵上 太郎、河津 良子

研究テーマ：乳酸菌生産物質の生理活性に関する研究

研究内容：1. 乳酸菌生産物質 PS-B1 がマウスの腸内環境に与える影響とストレス応答に及ぼす影響を明らかにする。

2. その他：バイオジェノミクス社（訪問研究員）が必要とする研究を適宜行う。

・共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・教授・宇都 拓洋

相手先機関名、研究代表者名：一丸ファルコス株式会社 開発部部长 田中 清隆

研究テーマ：メラニン産生促進及びオートファジー制御機能を有する天然物に関する研究

研究内容：メラニン誘導及びオートファジーに関する研究（例：アンチエイジング、タンニング剤などの素材の評価、メカニズム、有効成分）を共同で行う。

・委託研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・講師・榎本 彩乃

相手先機関名：国立研究開発法人科学技術振興機構

研究テーマ：臨床用 OMRI の技術基盤の構築と実証研究

研究内容：様々な疾病にはフリーラジカルが関係しています。基礎研究では多くのエビデンスが示される一方で、フリーラジカル計測器は臨床機器として確立していません。本研究では大幅な低電力化のアイデアにより、初のフリーラジカル計測・診断医療機器プロトタイプを実現します。その結果、人体中でフリーラジカルと疾病の関係が直接明らかになるため、創薬研究など医療分野において多大な発展をもたらすことが予想されます。

・共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・教授・隈 博幸

相手先機関名・研究代表者名：株式会社シノテスト・許 文喆

研究テーマ：術前・術後のプロテイン S 比活性測定による静脈血栓塞栓症発症のリスク解析

研究内容：整形外科的手術（特に人工関節置換術）を受ける患者のプロテイン S 比活性を網羅的に解析し、手術による静脈血栓塞栓症発症のリスクを明らかにする。

・共同研究

本学研究者所属・職名・氏名：薬学部・教授・佐藤 博

相手先機関名・研究代表者名：フタムラ化学株式会社取締役 兼 活性炭営業部部长
遠藤 頼宏、

吸着技術工業 技術グループ 出田 佑允

研究テーマ：ウイルス除去空気清浄機のウイルス除去性能・耐久性評価

研究内容：開発中のウイルス除去空気清浄機のウイルス除去性能と耐久性の評価

以上